

2022年

愛知県観光レクリエーション利用者統計

2022年1月～12月

観光コンベンション局観光振興課



ま え が き

本県では、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）を把握し、観光振興を図る上での基礎資料とするために、市町村を通じて、毎年、観光レクリエーション利用者統計調査を実施しております。

本書は、2022年の観光レクリエーション利用者統計の調査結果をとりまとめたものです。

観光レクリエーション利用者統計は、県内の各観光レクリエーション資源・施設を訪れた客数の合計人数（人・地点）で表したものであり、各地域内での観光レクリエーション活動の発生量の目安として参考にいただければ幸いです。

なお、調査にあたり多大なご協力をいただきました各市町村、各施設の関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

2023年8月

愛知県観光コンベンション局観光振興課

目 次

第1 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査内容	1
4 調査依頼先	1
5 調査対象	1
6 その他	2
第2 観光レクリエーション利用者統計	4
1 利用者総数の推移	4
2 月別利用者数	4
3 施設等区分別利用者数等	5
4 地域別利用者割合及び利用者数の推移	6
参考データ	11
1 観光レクリエーション利用者統計利用者数上位観光資源	11
(1) 全体	11
(2) 施設等区分別	12
2 観光レクリエーション利用者統計年別・地域別・施設区分別利用者数・構成比	15
(1) 年別・地域別利用者数	15
(2) 月別・地域別利用者数	15
(3) 地域別・施設等区分別利用者数及び構成比	16
3 観光レクリエーション利用者統計地域別・市町村別集計明細表	17
【付録】	
宿泊者統計（2022年）	24
1 延べ宿泊者数	24
2 外国人延べ宿泊者数	25

第1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光行政を推進する上での基礎資料とすることを目的として実施している。

2 調査期間

2022年1月1日から2022年12月31日

3 調査内容

県内観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）を、県内各市町村からの報告に基づき集計。

ア 観光レクリエーション資源・施設別

イ 月別

ウ 施設等区分（※）別

自然、歴史・文化、温泉・健康、スポーツ・レクリエーション、都市型観光（買い物・食等）、行祭事・イベント、その他

※「観光入込客統計に関する共通基準」と同様の区分

エ 地域別

地域区分については、別表「地域区分一覧」による。

4 調査依頼先

県内54市町村

5 調査対象

以下の3つの要件を満たす観光地点。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを対象として取り扱うものとする。

①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。

②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。

③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

6 その他

(1) 観光レクリエーション利用者統計は、2010年より調査対象の要件を変更したため、2009年以前のデータとは比較していない。

これは、観光庁が、都道府県間で比較可能となる「観光入込客統計に関する共通基準」を2009年12月に策定したことから、観光レクリエーション利用者統計の調査対象をこの共通基準に示された要件に合わせたことによる。

(2) 観光レクリエーション利用者統計の集計結果は、特に補正を行わない単純合計（人・地点）である。なお、数値の単位未満は、四捨五入することを原則としており、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

地域区分一覧

地域	市町村
①名古屋地域 (1)	名古屋市
②尾張北部地域 (16)	豊山町 北名古屋市 清須市 豊明市 東郷町 日進市 長久手市 瀬戸市 春日井市 尾張旭市 犬山市 小牧市 扶桑町 大口町 江南市 岩倉市
③一宮・尾張西部地域 (9)	一宮市 稲沢市 津島市 あま市 大治町 蟹江町 愛西市 弥富市 飛島村
④知多・衣浦東部地域 (13)	東海市 大府市 知多市 東浦町 阿久比町 常滑市 半田市 武豊町 刈谷市 安城市 知立市 高浜市 碧南市
⑤岡崎・西三河内陸地域 (3)	岡崎市 豊田市 みよし市
⑥新城・設楽地域 (4)	新城市 設楽町 東栄町 豊根村
⑦豊橋・三河湾地域 (8)	美浜町 南知多町 西尾市 幸田町 蒲郡市 田原市 豊橋市 豊川市

* () は、構成市町村数。

第2 観光レクリエーション利用者統計

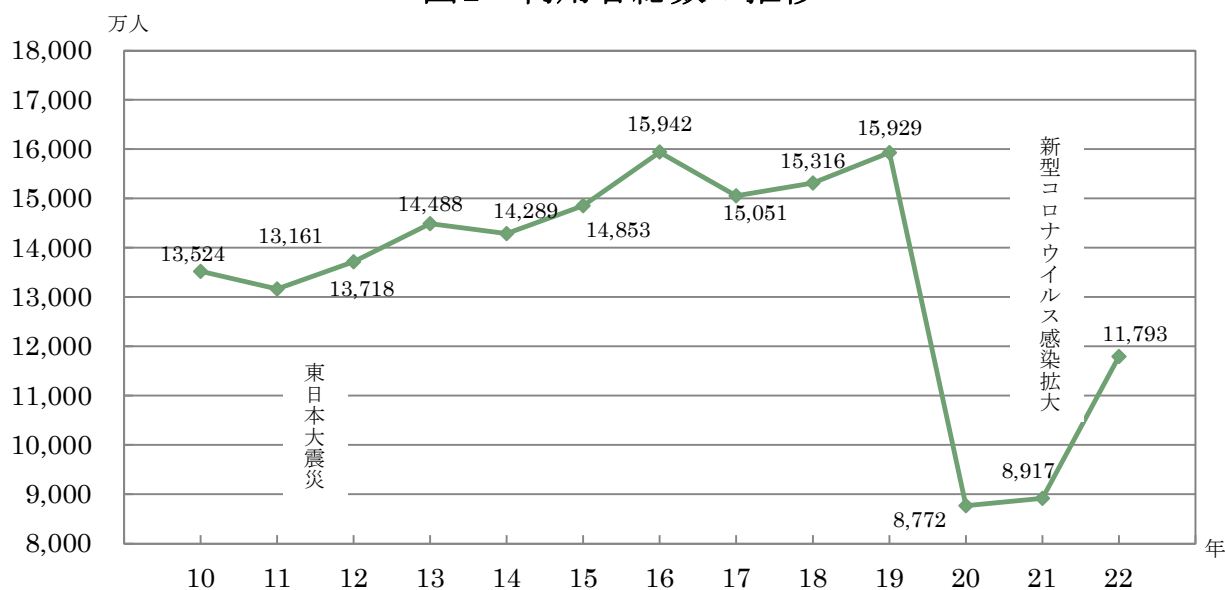
1 利用者総数の推移

2022年の愛知県内における観光レクリエーション資源・施設利用者総数は、1億1,793万3,446人となった。これは、前年に比べると32.3%増となった。(図1)

増加した主な要因としては、コロナ禍の過去2年間で感染防止対策が進み、安心して観光を楽しむ環境が整備されたことに加え、行動制限のない大型連休や10月から始まった全国旅行支援等の観光需要喚起策による影響が考えられる。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前の2019年と比べると26.0%減となっており、回復傾向にあるが依然として厳しい状況となっている。

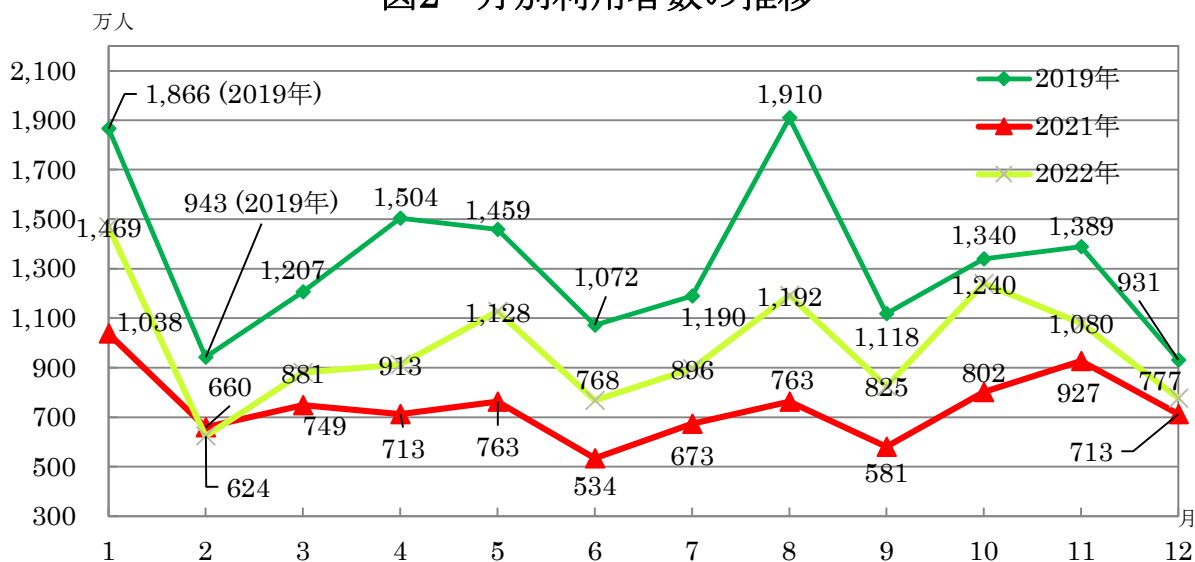
図1 利用者総数の推移



2 月別利用者数

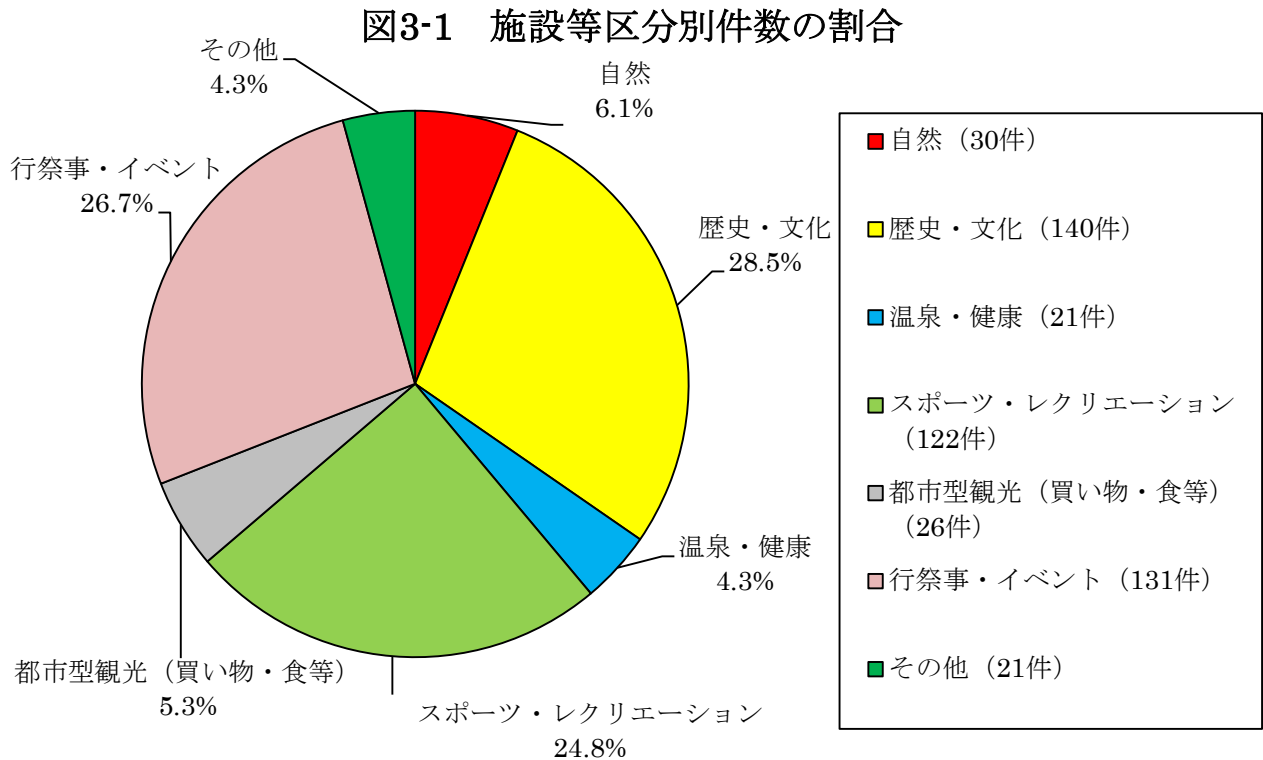
月別の利用者数を前年と比較すると、2022年2月は新型コロナウイルス感染症(第6波)等の影響により、2021年同月を下回っているが、その他の月においては、10月より始まった全国旅行支援等の影響もあり2021年同月を上回る利用者数であった。(図2)

図2 月別利用者数の推移

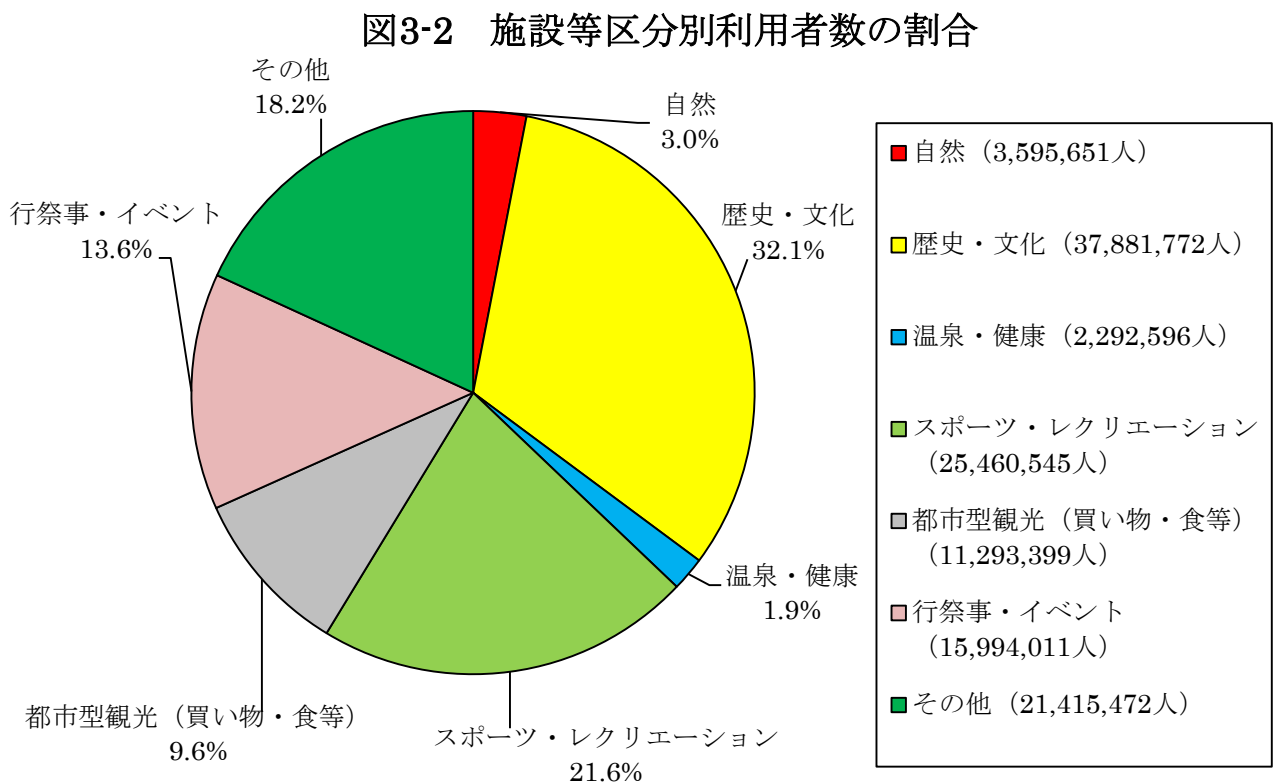


3 施設等区分別利用者数等

施設等を区分別に見ると、市町村から報告のあった491件のうち、「歴史・文化」(140件：28.5%)が最も多く、次いで、「行祭事・イベント」(131件：26.7%)、スポーツ・レクリエーション」(122件：24.8%)の順となっている。(図3-1)



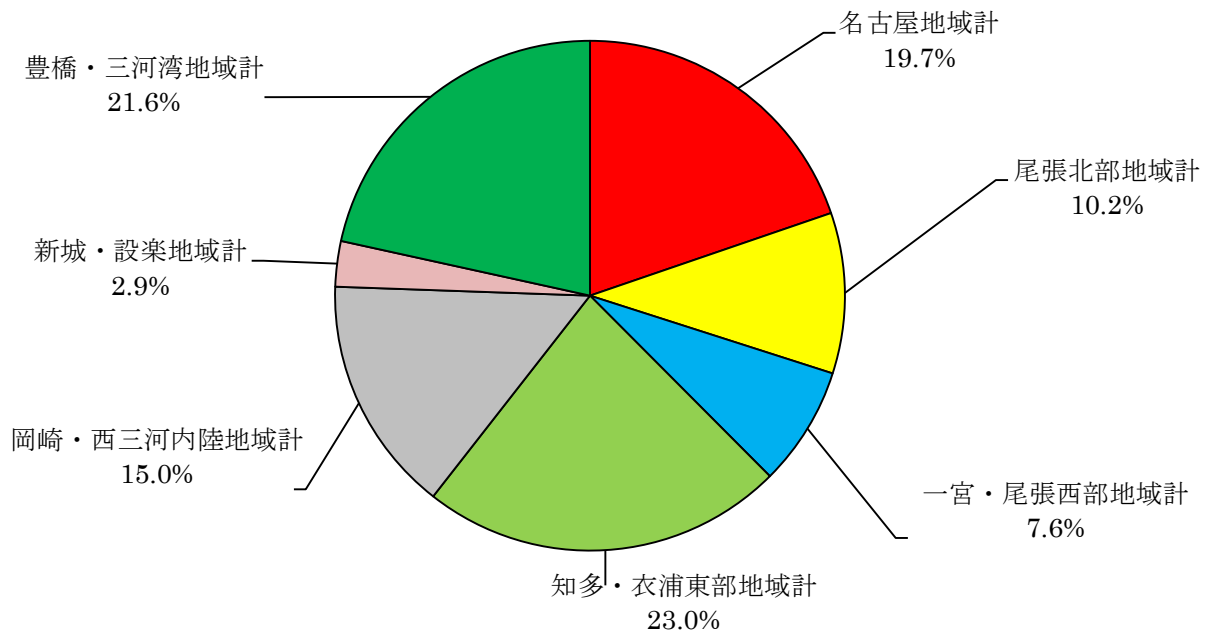
また、施設等区分別利用者数を見ると、利用者総数 117,933,446 人のうち「歴史・文化」(37,881,772人：32.1%)が最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション」(25,460,545人：21.6%)、「その他」(21,415,472人：18.2%)の順となっている。(図3-2)



4 地域別利用者割合及び利用者数の推移

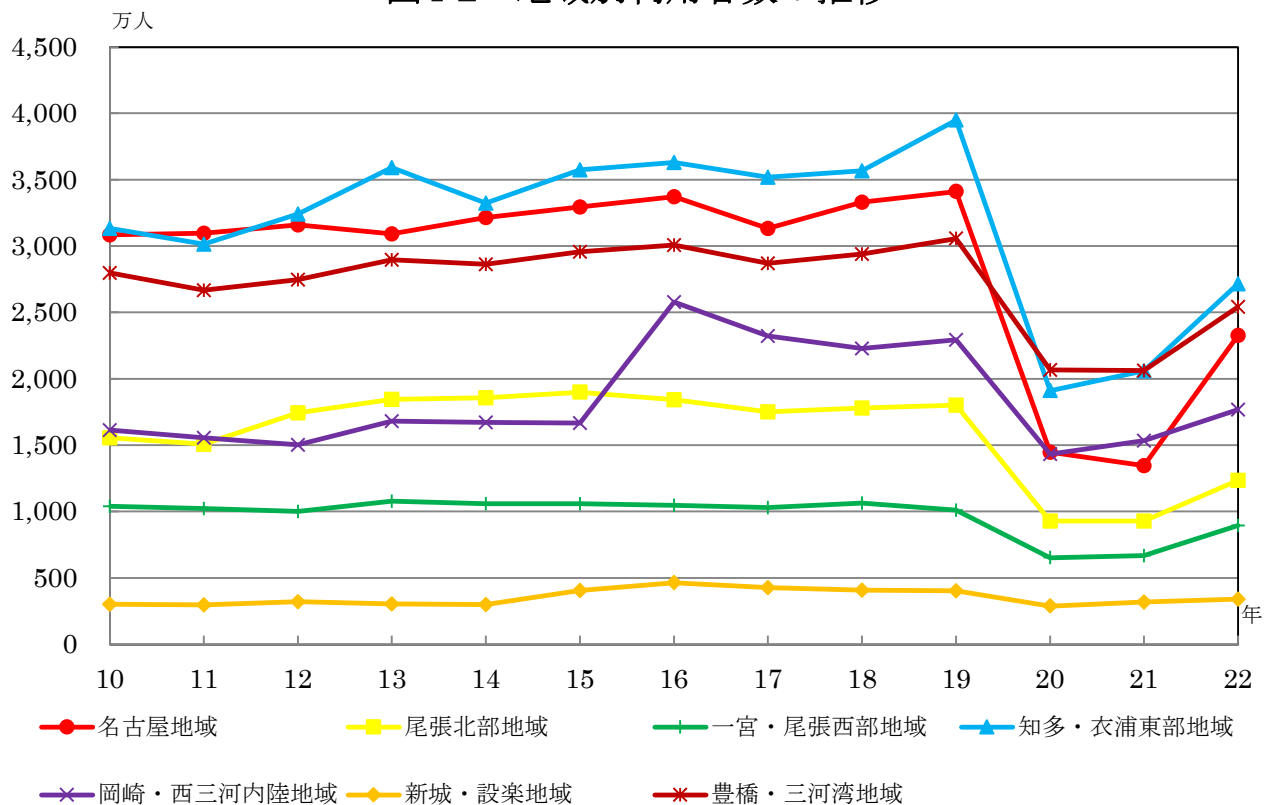
地域別利用者割合では、知多・衣浦東部地域（27,153,744人：23.0%）が最も多く、次いで、豊橋・三河湾地域（25,419,255人：21.6%）、名古屋市（23,281,998人：19.7%）と続いている。（図4-1）

図4-1 地域別利用者の割合



また、地域別利用者数の推移を見ると、全ての地域において前年より増加しているが、新型コロナウイルス感染症影響前の2019年までは回復していない。（図4-2）

図4-2 地域別利用者数の推移



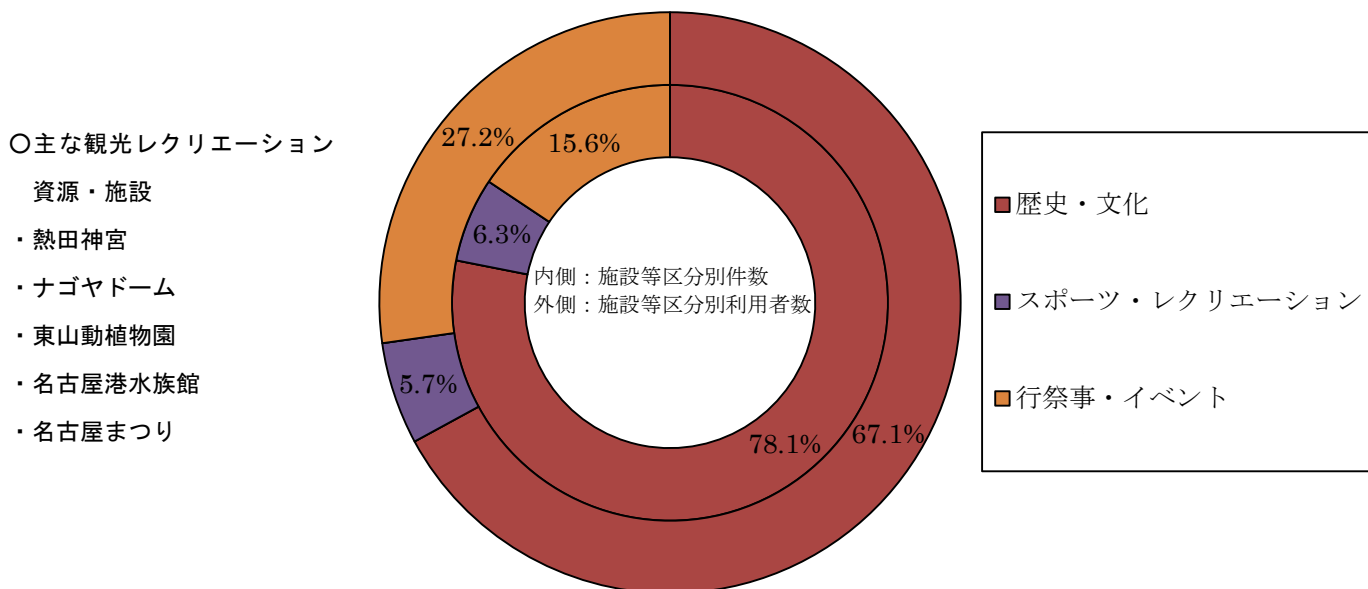
【地域の特色】

① 名古屋地域

施設等区分別件数を見ると、「歴史・文化」が25件で、全体の78.1%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」の利用が15,617,523人で、全体の67.1%を占めている。(図4-3)

図4-3 名古屋地域

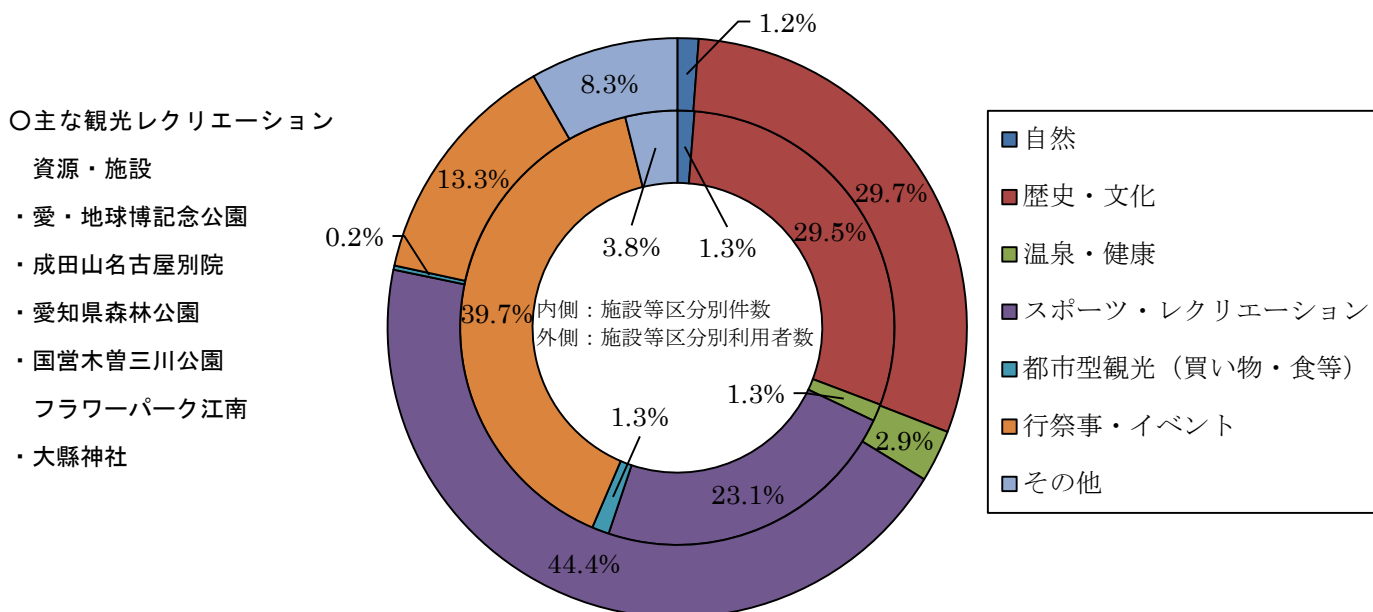


② 尾張北部地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事」が31件で、全体の39.7%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が5,342,156人で、全体の44.4%を占めている。(図4-4)

図4-4 尾張北部地域

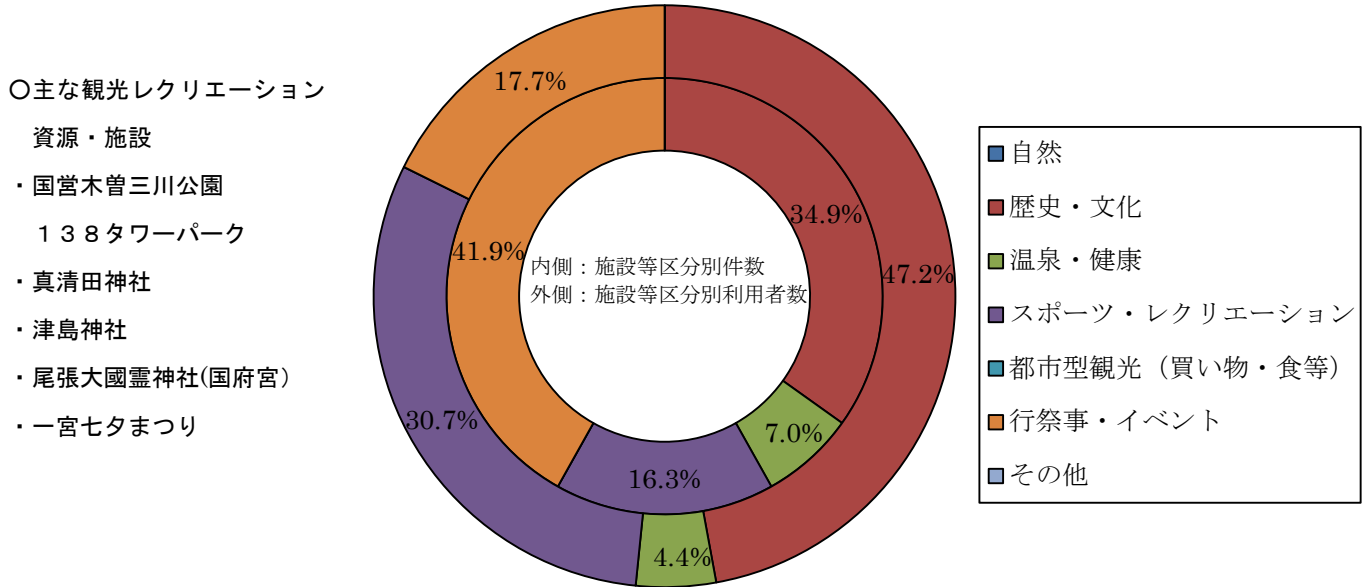


③ 一宮・尾張西部地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事」が18件で、全体の41.9%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」の利用が4,228,982人で、全体の47.2%を占めている。(図4-5)

図4-5 一宮・尾張西部地域

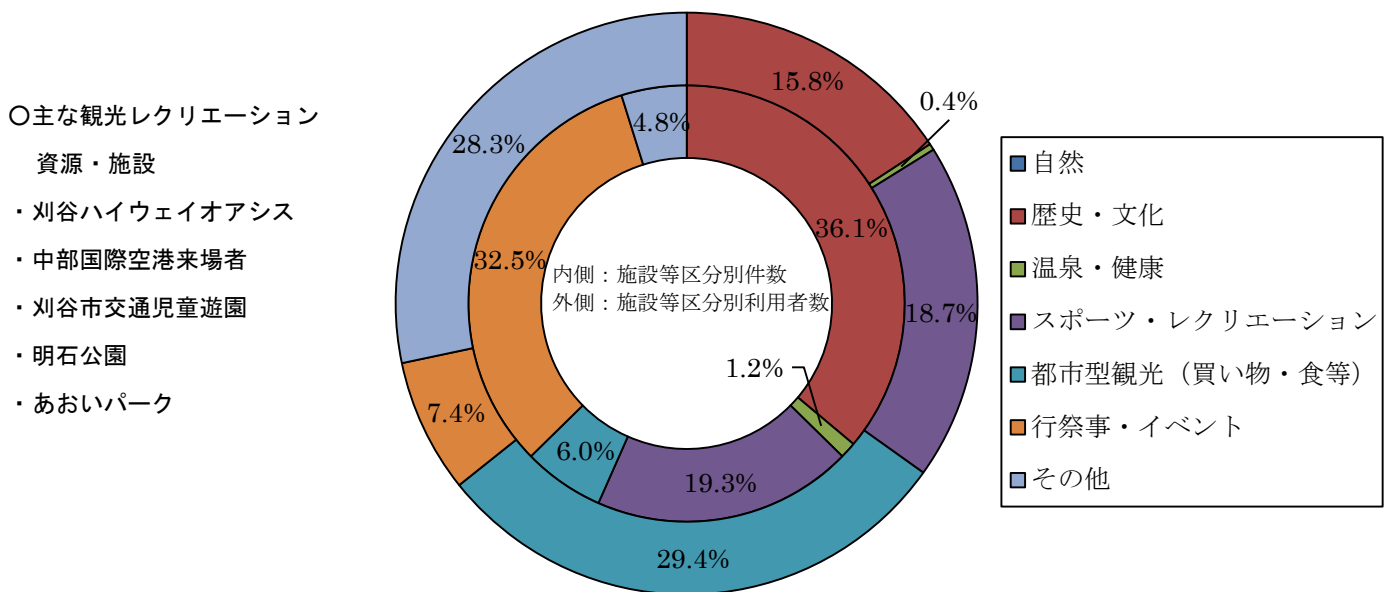


④ 知多・衣浦東部地域

施設等区分別件数を見ると、「歴史・文化」が30件で、全体の36.1%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「都市型観光」の利用が7,985,404人で、全体の29.4%を占めている。(図4-6)

図4-6 知多・衣浦東部地域



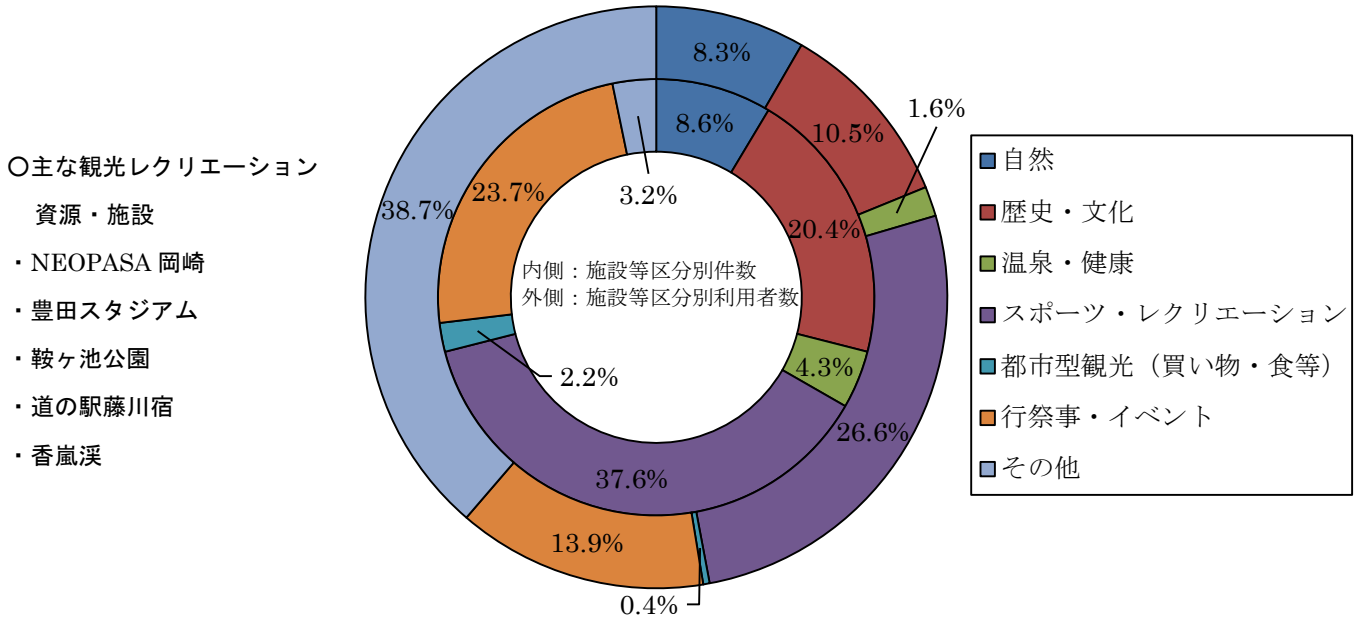
⑤ 岡崎・西三河内陸地域

施設等区分別件数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が35件で、全体の37.6%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「その他」が6,840,183人で、全体の38.7%を占めている。

(図4-7)

図4-7 岡崎・西三河内陸地域



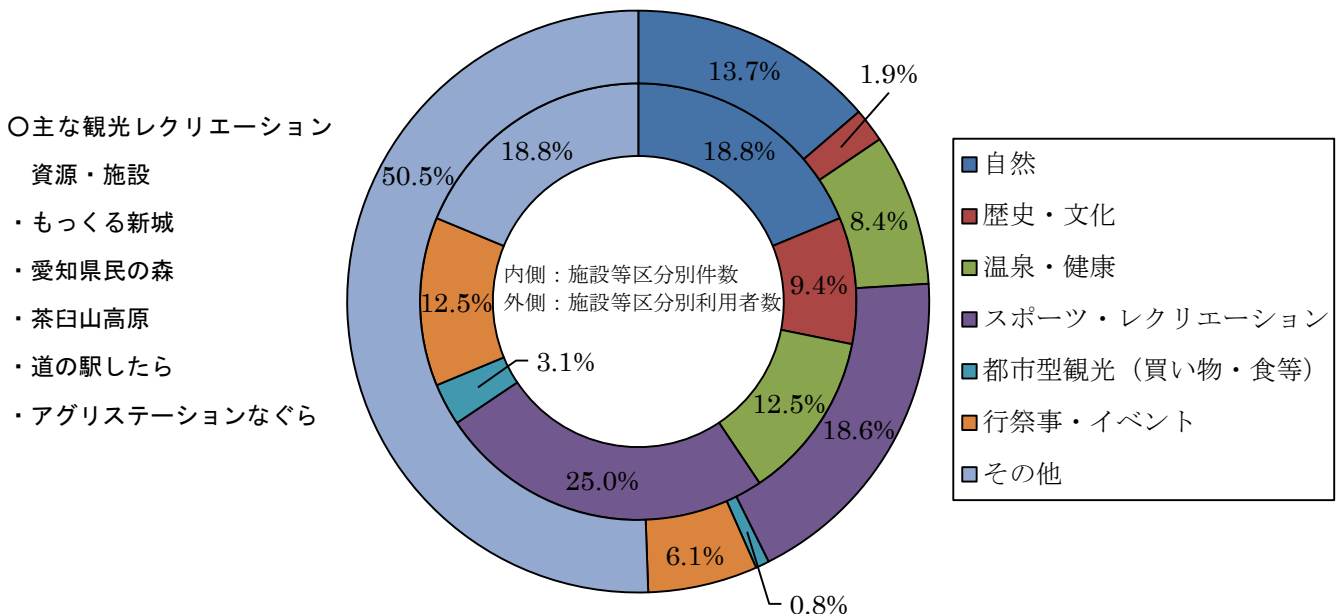
⑥ 新城・設楽地域

施設等区分別件数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が8件で、全体の25.0%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「その他」が1,723,217人で、全体の50.5%を占めている。

(図4-8)

図4-8 新城・設楽地域



⑦ 豊橋・三河湾地域

施設等区分別件数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が36件で、全体の27.7%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」が8,260,832人で、全体の32.5%を占めている。(図4-9)

図4-9 豊橋・三河湾地域

